



5/3  
(水)

## 憲法フェスティバル準備すすむ

# 水戸市・千波公園「ハナミズキ広場」へGO!

憲法フェスティバル実行委員会は、昨年11月8日(火)にスタート。これまでに6回の会議を持ち準備を進めてきました。

4月1日(土)には、水戸駅前から続く目抜き通りにある商店等に「憲法フェスティバル」ポスターを貼りチラシを置いてもらうために一軒ずつ訪問しました。田村武夫実行委員会代表、谷萩陽一事務局長など6人が参加し、「憲法フェスティバル」の宣伝などもおこないました。



▲2018年の憲法フェス

た。泉町スクランブル交差点にある老舗の食堂の外壁には、店主の許可を得て、ポスターを貼りました。3万枚のチラシが県内

全域で活用され、賛同

金も寄せられつつあります。守谷平和の会は、「複数で参加しよう」と呼びかけています。ぜひ、お誘い合わせて来場をお願いします。

### ■県平和委員会企画「国民に『決意』を迫る安保3文書～武力で平和は守れない～」

- ①防衛費増の状況
- ②自衛隊基地の強靱化計画
- ③南西諸島に長射程ミサイル配備
- ④百里基地の合同訓練強化
- ⑤東海第二原発が攻撃されたら

という5つのテーマでパネル制作をすすめています。

### ■様々な企画が用意されています

- ・さよなら原発いばらきネットワークは「東海第二原発取り巻く状況 このままでは再稼働されちゃう!止めるにはどうするか?」について考えます。
- ・茨城労連は「労働相談・年金相談コーナー」を設置。
- ・水戸民主商工会婦人部は筍を販売します。
- ・「9条の会」交流会(恒例)もあります。

### ■「プログラム等を袋詰めする作業」に参加を!

ボランティアが足りません。お手伝いを呼びかけます!

○4月29日(土)10時～「水戸翔合同法律事務所1階」です。

## 大軍拡のための「財源確保法案」は廃案に!

## 自衛隊施設「強靱化」の4兆円は、国民の暮らしのために!

岸田政権は「安保3文書」改訂に基づいて、「同志国」軍支援のための新たな制度の創設、防衛産業への支援を強化する法案、そして軍拡のための財源確保法案を通常国会に提出しました。これらは憲法の平和主義を壊し、財政民主主義を踏みにじる違憲立法です。

### ■全国283地区で司令部など主要施設の地下化や壁の強化などを図る計画

財源確保法案は、今後5年間で総額43兆円もの大軍拡のための新たな基金、「防衛力強化資金」という枠組みをつくり、そこから「資金」を出すことになります。国会では、「自衛隊施設の強靱化」と称して、自衛隊基地・防衛省施設を、核、化学、生物、爆発物による攻撃や、高高度での核爆発に伴う電磁パルスによる攻撃に対応できるようにするため、全国283地区で司令部など主要施設の地下化や壁の強化などを図る計画が明らかになっています。23年度から5年間だけで4兆円を投じ、10年以上かけて1万2,636棟を建て替え、5,102棟を改修します。

### ■茨城県内でも進む「自衛隊施設の強靱化」

茨城県内では、陸上自衛隊勝田駐屯地/土浦駐屯地/霞ヶ浦駐屯地/古河駐屯地/朝日分屯地/航空自衛隊百里基地/航空装備研究所土浦支所が対象となっています。航空自衛隊宮古島分屯基地(沖縄県宮古島市)が、3層構造の地下様式になっており、壁は1メートル以上の厚さで、電源なども確保されているといえます。いずれも「核戦争」を想定した仕様になっています。



「安保3文書」に関連して、岸田首相は「抑止力、対処力を高めるためのもの」と言います。つまり「抑止力」が破られた場合を想定し、「対処力」で応じるということです。

### ■国民の生活・生命の安全を確保する考えがない「自衛隊施設の強靱化」

日本全土が戦場になることを考え、今後10年以上をかけて自衛隊施設と自衛隊員が生き残るために「地下化」します。戦争の長期化も想定内なのでしょう。国民の生活・生命の安全を確保するという考えは全くありません。

作家の司馬遼太郎さんは「軍隊は住民や国民を守るも

のではない」と書いています。国民の生命、財産を守るのは警察や消防の任務であって、軍隊の本来任務ではない。ウクライナからの映像を見ても、火災現場で活動しているのは消防士です。

### ■マスコミも報道しない「自衛隊施設の強靱化」計画とその危険性

「自衛隊施設の強靱化」計画の危険性について、国民はまだほとんど知らされていません。それは、マスコミが報道していないからです。「平和かわら版」「平和新聞」などを活用しながら、宣伝を広げてゆきましょう！

## 東海第二原発再稼働の賛否「県民投票条例」再請求へ、とりくみ決意の記者会見！

### 都道府県で初の再挑戦！「茨城県民投票の会」再び動き出す

4月6日(木)、「いばらき原発県民投票の会」は、大井川和彦知事に対し再び東海第二原発の再稼働に対する県民投票条例の制定を直接請求するため、24年1～3月に署名活動を行うと、記者会見で発表しました。

20年6月に行われた条例制定請求に際して、「県民の意見を聞くことは、知事も県議会も当然と答えている」として、「再稼働を決める前に、県民や有権者の意見を聞く県民投票を実施してほしい」と訴えました。

24年1月から2カ月で、法定必要数である県内有権者数の50分の1(3月1日時点で約4万8千人)を超える署名を集め、大井川知事に直

▼東京新聞4/7号より



接請求して、6月県議会定例会への条例案上程を目指します。会では「**15万筆を目標に、最低でも前回は上回る署名を集めたい**」としています。

再度の取り組み決定に際して、県民投票の会は約3,600人の受任者へ手紙とアンケートを送り、270名余の方から回答が寄せられています。

日本原電によると、東海第二原発は、新規制基準に基づく防潮堤などの事故対策工事が24年9月に完了予定。その後、原電が立地・周辺自治体に再稼働の事前同意を求めるプロセスに入ります。県請願は「その直前の議会をめざすこと」にしました。

原発に関する住民投票条例制定の直接請求を、同一自治体で、かつ同一テーマで、複数回行うことについて、都道府県レベルでは初めてのケースとなります。

## 第94回茨城県中央メーデー 水戸駅南口さくら東公園で開催！ 大軍拡・増税反対！国民の平和と生活守れ！ 東海第二原発再稼働反対！軍拡財源確保法案の廃案！安保3文書の撤回！

第94回目となる県中央メーデーは、「水戸駅南口さくら東公園」で開催。デモを行い、「賃上げ」と「軍事費をくらしに回せ」を訴えます。

岸田政権は、今後5年間に「43兆円もの大軍拡」と、新たに「防衛力強化資金」を創設することを盛り込んだ「軍拡財源確保法案」を提出しました。

法人税やたばこ税の増税の他、国立病院機構の積立金422億円を軍拡財源として使用、また東日本大震災に対応するための復興特別所得税ほぼ半分を軍事費に流用し、

課税期間を延長するとしています。禁じての建設国債にも手を付けようとしています。

長年交流を深めて  
来られたお知り合いに **誘いの声を！**

かすみがうら平和の会、石岡平和の会、鹿行平和委員会(鹿嶋)に1人ずつ入会されました。ともに喜びたいと思います。この背景には、「3年声を掛け続けた」、「憲法学習会にお誘いした」、「地域の会に再入会した」など様々な取り組みがありました。

わたしたちの平和運動の財産は、人間関係を日々築いていることです。長年交流を深めて来られたお知り合いに「入会しませんか」と、まず誘いの声をかけてみましょう。そこからさらに新たな出会いが生まれます。

**日程** 5月1日(月) 9時30分受付  
10時開会 各団体からのアピール・メーデー宣言  
11時30分～デモ出発  
※デモ終了後、さくら東公園で閉会集会  
**場所** 水戸駅南口さくら東公園

(はみだしコラム) 岸田首相に爆発物を投げた彼の様々な主張について「持てる政治家にいらだち」などと表す識者がいるが、若者の持つ閉塞感や無力感、絶望感などを作ってきた社会はそのままいいのか?そこを考えないと、by つくちやん